

エコ学区かいらんばん 第3号

エコ学区におじゃましました!

南太秦学区（右京区）

「みんなでやるで! 地域ぐるみでエコ活動」
～学習会から小学校での緑のカーテンへ～



[チェックしてみよう! 私のエコポイント]
講師：高月紘 京エコロジーセンター館長



南太秦学区では、自治連合会、地域女性会、学校運営協議会など「地域・学校教職員・児童」が一体となってエコ活動に取り組んでいます!

5月、南太秦小学校の壁面に沿ってプランターを約36m並べ、支援物品「緑のカーテンセット」の植付けが実施されました。

子どもたちは、地域の人々と協力しながら、土入れ、苗植え、プランター運び、雨水タンクを利用した水やりを行いました。



支援物品「ゴーヤの苗・下水リサイクル汚泥入り培養土のセット」で植付けました。

<南太秦小学校教員の感想より>

さわやかな初夏の陽射しの中、大人に見守られ、南太秦小学校児童約40名が自分たちで植え付け作業を行いました。涼をもたらす緑のカーテンが完成するまで、水やりなどしっかりと世話をしていきたいと思います。

エコ学区とは?

京都市では、「地域ぐるみでエコ活動を推進します」と宣言し、環境にやさしい取組を実施される学区を「エコ学区」としています。平成27年度までに市内全222学区が、環境にやさしいライフスタイルへの転換や温室効果ガスの削減に取り組む「エコ学区」となることを目指しています。25年度末には163学区が「エコ学区」になっています。

平成26年度エコ学区の最新情報をお届けします!

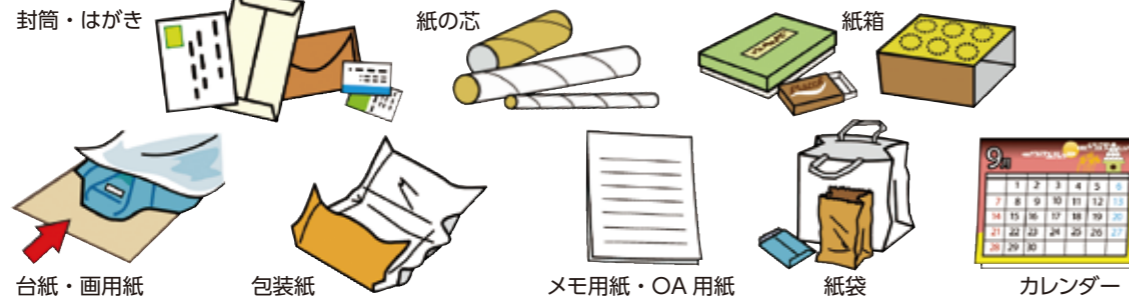
平成26年6月から「雑がみ」の分別・リサイクルを全市でスタート!! 町内や地域での雑がみ回収を学区をあげて進めましょう!

「雑がみ」とは?



「新聞や折込チラシ」、「ダンボール」等と同じように、
リサイクルできる紙類のことを「雑がみ」というのよ。

雑がみの例



分別・回収の注意



- 紙箱等は、かさばらないよう折りたたみ、紙袋にまとめてお出しください。
- 雑がみは、雑誌等と一緒にまとめて出していただいても構いません。
- 汚れているものや、特殊な加工をしているものはリサイクルできません。
(特殊な加工とは、防水加工、コーティング紙、感熱紙、粘着物(付せん)等です。)

京都ならではの雑がみの回収の仕組み

その1

地域のコミュニティ回収に出してください!

新たにコミュニティ回収を始めたいとお考えの場合は、まち美化事務所・エコまちステーションに御相談ください。助成制度があります。



その2

古紙回収業者に出してください!

(巡回している古紙回収業者へ排出できない場合は...)
本市が定期収集している「小型金属類・スプレー缶」の収集日と同じ日・同じ場所に「雑がみ」を出していただければ、古紙回収業者が回収します。
※なお、一部の地域や民間の収集業者がごみを収集しているマンションは除きます。



その3

回収拠点などに持ち込んでいただくこともできます。

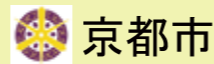
詳しくは、インターネットで『京都市 資源物回収マップ』を検索

「雑がみ」回収についてのお問い合わせは、お住まいの地域のまち美化事務所・エコまちステーションまで
担当：京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課 【電話】075-213-4960

発行 京都市環境政策局地球温暖化対策室 【電話】075-222-4555 【FAX】075-211-9286

制作 エコ学区サポートセンター (公益財団法人京都市環境保全活動推進協会) 【電話】075-641-3686 平日10~18時(土・日・祝日除く)

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入が使われています。この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!
毎月16日は「DO YOU KYOTO? デー (環境にいいことをする日)」です。



エコ学区学習会におじゃましました!

栗田学区 (東山区)

「学習会×暮らしの匠」 ～地域ぐるみで学んで取り組むエコ活動～

栗田学区自治連合会では、「地球温暖化の最新状況と対策についての学習会」を開催しました。また、学区内の12世帯に省エネナビを取り付けて、省エネ生活を行う「暮らしの匠」を実施。「電源が入りっぱなしだったのを切るように心掛けるようになった」「冷蔵庫のスイッチを“中”から“弱”に変えた」といった実践活動が報告されるなど、日々の暮らしに省エネ意識の定着が図られました。



地球温暖化の現状や、家庭でできるエコな取組について、学ぶことができました。



本番に備え家庭内の電気使用量を測定する「省エネナビ」の使い方を試しています。



<「暮らしの匠」を実施した結果>

2月に実施し、の電気の消費量を1世帯一日平均で7.0%(1.87kWh)減らすことができました。(最も減らした世帯は20.4%削減)また、1か月の電気代にすると、1,237円の削減、CO2排出量に置き換えると、25.7kgの削減につながりました。

桂学区 (西京区)

「エコバスツアー×学習会」 ～フード・マイレージ買い物ゲーム体験～

リユース食器の貸出しなど、日頃からエコへの関心の高い桂学区は、昨年度に続きエコバスツアーに参加した後、「食」をテーマにした学習会を開催しました。スーパーのチラシの内容を見て、作成された季節をあてる「旬あてゲーム」をはじめ、食材が食卓に上るまでの「フード・マイレージ」(食物の重量×移動した距離)について学びました。



環境ボランティアの案内で、京エコロジーセンターの館内展示を見学しました。



ワイワイガヤガヤ、講義を聞くだけでなくグループで相談しながら、頭も体も動きました。



環境施設見学会 ごみ減量エコバスツアー

ごみ処理施設や再資源化施設の見学を通じて、環境にやさしいライフスタイルについて改めて考えることができます。無料で参加できますので、ぜひ、各区役所・支所のエコまちステーションにお申込みください。

竹間学区 (中京区)

「学習会×リユース食器」 ～「整理収納」でこちよエコな暮らし～

平成26年5月、こどもみらい館で、モノとの付き合い方についての学習会を開催しました。子育て世代をはじめ、小さな子どもから大人まで、幅広い年代が集まり、支援物品のリユース食器でふるまわれたお茶とお菓子をいただきました。整理収納アドバイザーによるエコなお話と、実際の事例を基にした身のまわりにある多くのモノとの付き合い方について、ゆったりほっこり考える時間となりました。



講師の森下真紀さん(整理収納アドバイザー)の話を聞いています。



子ども服の無料交流会(主催:竹間学区地域ごみ減量推進会議)と同時開催しました。



(参加者のアンケートより)

- ・ ゆっくり聞けて良かったです。整理について考えるきっかけになりました。
- ・ 整理収納についてもっと詳しく知りたいと思いました。
- ・ 機会があるごとに、こうした会に参加したいと思います。
- ・ 次は本のリサイクル(整理)について学びたいです。

崇仁学区 (下京区)

「児童館×学習会」 ～つくってあそぼう!エコ工作～

平成26年3月、崇仁児童館では「つくってあそぼう!エコ工作」を開催しました。エコについて学んだ後、牛乳パックを使ってびっくり箱を作りました。使い終わって捨てられてしまうモノが、少しの工夫で遊べるおもちゃに大変身!子どもたちは、時間を忘れるほど夢中になって取り組み、世界で一つだけのオリジナルおもちゃを大切に持って帰りました。



エコについて学んだ後、楽しみにしている工作で使う材料が配られます。



牛乳パックに自分ではさみをいれます。けっこう力が必要です。うまくできたかな?



(参加者のアンケートより)

- ・ いろいろエコなことは知っていたけど、牛乳パックで遊べることを初めて知りました。また、エコのことを学びたいと思いました。
- ・ とても楽しかったです。理由は、牛乳パックが再利用できることを初めて知ったからです。また家で作ってみたいと思いました。